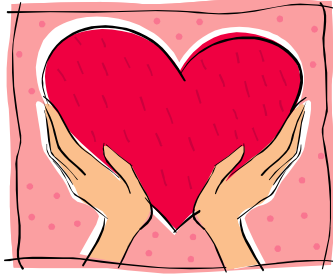


## イーサール ～ゆずりあいのころ～



### まずしいひとをたすけること

あるひ、サイドとクラスメートたちは、せかいじゅうのまずしいひとたちをたすけたいとおもいました。そこで、かんにおかねをあつめはじめました。ヒバーせんせいが、それぞれのかんを、「アル・カウサルのかん」とよぶよう、いいました。



ビラールがせんせいにききました、「アル・カウサルってなんですか？」せんせいがこたえました。「アル・カウサルは、アッラーからよげんしゃムハンマドさま（サッラーフ アライヒ ワッラーム）にあたえられた、ジャンナにある、とくべつなかわのなまえです。」ムナがききました。「どうして、アル・カウサルのかわは、とくべつなんですか？」

### アル・カウサルがとくべつなりゆう

1. しんぱんのひに、よげんしゃさま（サッラーフ アライヒ ワッラーム）ごじしんが、アル・カウサルのかわのみずを、わたしたちにのませてくださいます！！
2. そのみずは、ミルクよりもしろく、はちみつよりもあまいです！！

せいとたちは、おかねをあつめました。アッラーがアル・カウサルのかわのみずをのませてくれるといいな、とおもいながら、じぶんのおかねをだしました。サイドも、じぶんのおこづかいから、おかねをだして、かんにいれました。

### これを、イーサールとよびます。

**イーサール**とは、じぶんのすきななにかを、ほかのひとのためにさしだすことです。

**イーサール**をすると、アッラーがよろこんでくださり、じぶんもうれしいきもちになります。

サイドと、ともだちは、おもいやりのころをわすれずに、おかねをあつめました。いつかげつのあいだで、95かんぶんのおかねをあつめました！！

ヒバーせんせいは、みんながやさしいころをもっていることを、とてもうれしく、ほこりにおもいました。